

広報文芸

自由律俳句

おくさの会編集室選

さざん花今見ごろ椅子と私とお日さまと 茶屋 小林 道子
 去年出来ていた事が出来なくて年の瀬となる 茶屋 長谷川由美子
 月日の早いこと私はいつも亀でいる 茶屋 木山 輝子
 午の刻におはようと娘のライフスタイル 茶屋 藤原 寿郎
 窓ふき一年の思い拭き消す 宝谷 長尾 智恵
 日めくり三枚やり残した事あれやこれや 生山 渡辺 圭子

短歌

若者の声でひととき満ちたるを 湯呑み並べて無言の会話
 昨夜来一夜明けたら銀世界 列島おそう季節のあらし
 息災や二人三脚夫婦して 目標かかげ今を生き抜く
 寒中の白き歩道に歩み出る 雪を踏みしめノルディックウオーク
 きさらぎの大倉山に降る雪は ささらさらさと塩のごとくに
 その人は目も有る鼻も口も有る 聞く耳だけを持ってないのか

俳句

駄句駄句会編集室

玄米に納豆あわせ頬ゆるむ
 山茶花の千の蕾のかたきかな
 雪の嵩見舞う電話や異国より
 ひっそりと佐助咲きし友偲び
 恙無く米寿の峠冬日和
 退院や師走の雨にぬれながら
 石霞溪もみじ岩橋町じまん
 一夜でね錦秋の山鳥の声
 岩に稚児まばたきひとつもみじあり
 大寒波都会の息子にSOS
 倅亡く卒寿の肩に雪が舞い

萩原 岡本 健三
 宮内 木村萬佐子
 宮内 田邊登志美
 宮内 船越 裕子
 矢戸 和田 淑子
 神戸上 笹間 玲子
 花口 田邊 正人
 下石見 矢田貝 元
 阿毘縁 秦 節
 花口 新田 祐士
 花口 新田 祐士

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介します。



「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

2月の日程

2月・3月はお休みします。

「梅」



右手の親指と人差し指と中指の指先をくっつけてその手を口の端に当てたあとこめかみに当てる。

「竹」



両手を指文字の「コ」の文字にして指先を互いの手のひらにつけながら上に上げていく。

「松」



右手の人差し指と中指を伸ばし少し広げて2指の指先を頬にあてる。

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

